

資料:

桜圃寺内文庫開庫100周年記念シンポジウム －桜圃寺内文庫と山口県立大学－に寄せて

図書館長 安光裕子

桜圃寺内文庫は、初代朝鮮総督や第18代内閣総理大臣などを歴任した寺内正毅によってその基礎が作られ、子息の寿一によって、大正11年（1922）2月5日に開庫された寺内家の私設図書館です。収蔵資料の大半は山口県立大学へ寄贈されています。文庫の建物は山口県立大学の前身である山口女子専門学校、山口女子短期大学、山口女子大学の附属図書館として約30年間利用されてきました。

今年度（2021年度）は、桜圃寺内文庫が開庫されて100周年にあたり、それを記念して、2021年11月3日（水）13時から、本学B401にて、「桜圃寺内文庫と山口県立大学」と題して、シンポジウムを開催しました。

開庫100周年にあたって文庫との関わりを振り返ってみれば、本学に入学した年の夏休みに、文庫資料の研究調査に関わるようになったのが文庫資料との最初の出会いです。当時まだ研究調査とはどういうものかわからない私は、多くの資料に囲まれて目録作成のためのカード作りのお手伝いをさせていただきました。その目録は、國守進編『桜圃寺内文庫の研究』に収録されています。こうした地道な作業が研究という作品を創り上げる土台となっていることに気づかされました。

また、文庫は本学の図書館でもありました。重厚な雰囲気の中で読書をしたり、調べ物をしたりしたことを今でも鮮明に覚えています。文庫は、私の研究生活をスタートさせる最初の第一歩を踏み出す場であったと言えます。

私にとって今年度は、定年退職を迎え、研究生活の一段落となる年にあたります。その年に、図書館が主催する開庫100周年記念シンポジウムを図書館長として開催することに、深い感慨を覚える次第です。



桜圃寺内文庫は、初代朝鮮総督や第18代内閣総理大臣などを歴任した寺内正毅によってその基礎が作られ、子息の寿一によって、大正11年（1922）2月5日に開庫された寺内家の私設図書館です。文庫は山口県立大学の前身である山口女子専門学校、山口女子短期大学、山口女子大学の附属図書館として約30年間利用されてきました。収蔵資料の大半は山口県立大学（現在）に寄贈されています。

今年度は、桜圃寺内文庫が開庫されて100周年にあたり、それを記念して、「桜圃寺内文庫と山口県立大学」と題して、シンポジウムを開催します。

桜圃寺内文庫開庫100周年
記念シンポジウム

2021年11月3日（水）
13:00～15:00

会場 山口県立大学 2号館 B401（北キャンパス）
主催 山口県立大学図書館

スケジュール

13:00	開会	
13:10	コーディネーター	伊藤幸司（九州大学教授）
	報告（1）	渡辺 道（本学准教授） 「寺内正毅の生涯と寺内文庫」
13:30	報告（2）	倉田研治（本学准教授） 「地域資源としての寺内文庫の活用」
13:45	休憩	
13:55	ディスカッション	「桜圃寺内文庫と山口県立大学」
	コーディネーター	伊藤幸司
	パネラー	福田百合子（本学名誉教授） 國守 進（本学名誉教授） 熊本守雄（本学名誉教授）
15:00	閉会	

申込方法
往復はがき又は申込フォーム
はがき：住所、氏名、複数で申し込まれる場合は、人数（2名まで）、各々の住所、氏名を記入してください。
【申込締切日】10月20日（水）先着順
申込はこちら

留意事項
対面で開催する予定にしていますが、今後の社会情勢によっては、対面とオンラインとの併用開催、オンラインのみ開催、開催の中止が考えられます。開催方法は10月25日（月）付で、はがき又はメールにてお知らせします。

コロナ対策
・会場は常時換気を行うとともに、定期的に机、椅子の消毒を行います。
・入場の際には、手指の消毒、体温の測定、マスクの着用、ソーシャルディスタンスをお願いします。
・発熱等の症状のある方は、参加をご遠慮ください。

お問い合わせ
〒753-0021 山口県長門 6-2-1
山口県立大学図書館 安光裕子
TEL:(083)929-6200
E-mail: terouchi@yamoguchi-pu.ac.jp